

(参考)

今後、温泉地保護利用推進室において取り組んでいく施策の方向性（例）

- ① 新たな温泉地支援政策の方向付け
  - ・ 今後の温泉地の活性化に向けた政策のあり方を検討  
（各地の優良・成功事例をあわせて取りまとめ紹介）
- ② 温泉地に関連する既存施策の活用・拡充
  - ・ 国民保養温泉地の支援強化  
例：新規指定、国立公園における重点的な施設整備、利用者のニーズにあった温泉地の紹介
  - ・ 再エネルギー・省エネルギーに関する支援策の活用  
例：温泉地における低炭素社会づくり計画策定支援の活用等
  - ・ 自然公園内における施設整備の充実  
例：ユニバーサルデザインの導入強化によるインバウンド対応
  - ・ 温泉地におけるエコツーリズム、ジオツーリズムの推進
- ③ 関係団体等との連携強化
  - 例：・ 温泉関係団体等（国民保養温泉地協議会など）との連携による普及啓発等の実施
    - ・ その他、関連学会・研究者や地方自治体との連携を強化
- ④ 人材育成
  - ・ 温泉地の活性化を担う地域関係者・自治体等の人材育成
- ⑤ 国際展開・情報発信
  - ・ インバウンドの誘導と国際的な発信力の強化